

平成27年度第1回芦屋市スポーツ推進審議会会議録

日 時	平成28年2月8日(水) 15:30~17:15
場 所	芦屋市役所北館4F教育委員会室
出席者	会 長 岡田 明 副会長 西田 俊一 委 員 井原 一久, 古津 純子, 比嘉 悟, 山口 泰雄, 寺前 尊文, 佐野 恵子, 北尾 文孝, 和泉 淑子 (2人欠席: 畑中 俊彦, 金山 千広)
事務局	中村 尚代社会教育部長, 木野 隆スポーツ推進課長, スポーツ推進課職員(木戸 秀行, 大西 貴和, 藤岡 厚貴, 権藤 弘之), 学校教育課職員(平野 弘士)
会議の公開	■ 公 開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 新委員任命書授与
- (2) 挨拶
- (3) 委員及び職員自己紹介
- (4) 議 題
 - ①芦屋市スポーツ関係団体補助金交付について
 - ②芦屋市スポーツ推進実施計画の進捗状況(体育館・青少年センター工事含む)について
 - ③南芦屋浜地区教育施設用地について

2 提出資料

- 資料1 スポーツ団体補助金交付
- 資料2 スポーツ推進実施計画進捗状況
- 資料3 子ども体力, 中学校部活動 ※個人情報 は削除
- 資料4 体育館青少年センター改修図面
- 資料5 南芦屋浜地区教育施設用地の利用

3 審議経過

《開 会》

《新委員任命書授与》

《中村社会教育部長挨拶》

《岡田会長挨拶》

《委員及び教育委員会職員自己紹介》

《議 事・議 題》

- ・委員10人の出席により審議会条例第6条第2項の規定により、本審議会成立
- ・情報公開条例第19条（保有個人情報の開示義務）の規定により議事録等公開を確認

岡田会長 議題（1）平成28年度芦屋市スポーツ関係団体の補助金交付について
このことについては、スポーツ基本法第35条（審議会等への諮問等）に基づき、本審議会に意見を聞くこととなっております。
それでは、事務局から説明をお願いします。

木野課長 スポーツ関係団体の補助金交付については、団体の活動実績及び活動内容、社会的な役割など十分に勘案しまして、補助額の適正化を図っています。
芦屋市においては、特定非営利活動法人芦屋市体育協会と芦屋市レクリエーションスポーツ協会の2団体に補助金の予算立てをしているところです。
平成28年度において、別途資料のとおりですが、補助内容について担当者から説明させていただきます。

大西主事 特定非営利活動法人芦屋市体育協会について説明（資料1は別紙のとおり）
平成28年度については、120万円を申請されています。

藤岡主事補 芦屋市レクリエーションスポーツ協会について説明（資料1は別紙のとおり）
平成28年度については、35万円を申請されています。

岡田会長 2協会の説明をしていただきましたが、いずれにしましても、体育協会の方は大きなお金が動いているわけですが、その中で120万円ということは、ぜんぜん少なくて、先ほど挨拶で追い風が吹いていると言いましたが、厳しい状況が続いているようです。レクリエーションスポーツ協会の方については、35万円でそれなりの価値があると思います。いずれにしても、なかなか増額というふうにはいきません。今、ご説明いただいたことで、委員の皆様方の方で何かご意見ご質問がございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

岡田会長 何もございませんでしたら、次の議題にすすみたいと思いますが。この議題は承認をいただくのではなく、意見を聞く形となっております。

岡田会長 それでは、次の議題に入ります。
議題（2）芦屋市スポーツ推進実施計画の進捗状況について

芦屋市では芦屋市スポーツ推進実施計画を策定しました。これは市民調査を行い、あるいは今までのさまざまな現状について調査し、スポーツ推進審議会が中心になって計画の答申を行い、教育長に提出しました。今回、現在の進捗状況を説明していただき、何か問題があればご意見等をいただきたいと思います。

木戸係長 それでは、芦屋市スポーツ推進実施計画の現在の進捗状況をご説明させていただきます。

※計画冊子は市ホームページに掲載済みのため省略

※資料2（芦屋市スポーツ推進実施計画進捗状況，平成28年2月4日現在）の内容は別紙のとおり

平野指導主事 芦屋市の学校体育・スポーツについてご説明させていただきます。

※資料3（子どもの体力実施調査結果，中学校部活動成績結果）は個人情報があるため，一部省略

大西主事 芦屋市立体育館・青少年センター改修工事について，ご説明させていただきます。

この施設は，昭和47年に建てられ，今年で43年となります。保全計画の基づく小規模改修という位置づけですすめております。建物が建てられて60年が経過したら，大規模改修であったり，立て替えたりするようですが，15年，30年，45年と節目の時にこういった改修工事が行われます。今回43年（約45年）になり，外壁がタイルであったり，屋内ではサッシであったり，手を加えないところが多いため，平成27年11月から平成28年3月末までの5か月間にかけて，全館閉館させていただいて，改修工事を行っている最中でございます。今回，資料4で付けさせていただきますのが，地階から地上4階までの図面です。

※資料4（芦屋市立体育館・青少年センター改修工事図面）の内容は別紙のとおり

主な改修箇所ですが，新たに2階のホール（2）を設けます。市民の憩いの場として，展示スペースにもなるようにもしています。また，健康志向グループ（健康体操，ヨガなど）が多くなり，そのニーズに応えるため軽体操室を設けます。

また，青少年センターの複合施設としてもあるので「赤ちゃんの駅」を設けます。3階にはキッズスペースとして「幼児コーナー」を設けます。

アリーナ（競技場）の2階にランニングロードを開放させていただいておりますが，土曜，日曜になると大会等で開催されることが多く，このスペースを観客席にしてほしいと希望があったのですが，建築上の関係で実現しておりません。その代りではないですが，透明のガラス張りの柵（前は

鉄製の手すり) にします。子どもはアリーナが見やすくなります。

岡田会長 ただいま、進捗状況のご説明を受けましたが、スポーツ推進課を中心として、生涯学習課や健康課、スポーツ団体としては、体育協会やレクリエーションスポーツ協会、あるいは芦屋大学などが、それぞれの場所で今それを推進していただいております。体育館・青少年センターの改修工事についても小規模と言いながら、良い形で進められていると思います。何かご意見ご質問ございませんか。

井原委員 計画20ページの「幼児期の体力づくり」は、運動習慣の部分というのがすごく大切だと思うのですが、小学校、中学校はもちろん頑張っておられると思うのですが、どういうふうに工夫するか、が大切だと思います。学校教育課から、いろいろデータを出しておられますが、幼稚園（幼児教育）のところで数値化する目標などはないでしょうか。そういうことを計画的に取り入れられて、5年後、10年後の目標設定されることで、小学校の体力や中学校部活動の阪神大会の成績も上がってくるのではないかと、思います。いかがでしょうか。

岡田会長 スポーツ推進課でやっておられる「幼児体力測定」など、実施しているようです。

権藤社会教育主事 この計画を策定する時に、文科省から「幼児運動指針」が出ており、山口委員のご指導もいただきながら、忠実に事業をすすめようとしています。この指針の中には「幼児体力テスト」の実施要項や評価基準もあるのですが、テストをすることで競争につながってしまい、刺激がきついのかなと懸念しております。今後も幼児体力テストは実施していきませんが、慎重に扱いながら実施していきたいと思います。

岡田会長 幼稚園の場合は、私立と公立とすこし方針が違うことがあります。数値化することは、むずかしいかもしれません。

西田副会長 この計画は、スポーツ推進課中心に関係課やスポーツ団体等がまとめ上げましたが、「絵に描いた餅」にならないように、5年計画、10年計画とすすめようとしており、非常にいい方向性にあると思います。また、今日の資料を見ていると、行政だけがやっているのではなく、体育協会やレクリエーションスポーツ協会などもやっていること、非常にわかりやすい資料となっています。しかし、さまざまな事業が重なっていたりするので、できれば一緒にやってみた方が良いのではないかと思います。限られた予算ですので、効率よくしたいものです。

山口委員 幼年期の体力づくりですが、子どもの体力は1985年がピークで、あとはどっと落ちてきて、ようやく下げ止まってすこし戻ってきている状態です。体力低下がいつから始まっているかということ、小学1年生から6年生

までの伸び率は、30年前も今もあまり変わっていません。ということは、小学校では、学校体育により伸びているのですが、小学校に入学する時にすでに体力が低いことが分かりました。その結果、今、権藤さんが言われたように、幼児期の体力づくりの指針「幼児運動指針」ができて、「毎日、60分の運動遊びをしましょう。」ができています、運動遊びですので、重要なのは指導者（先生）だと思います。昨年、荒谷学校教育課長から依頼があって、市内の小中学校長先生に講演させてもらいました。今度は、幼稚園の先生にも講演してもらいたいと依頼があったので、今年も行くことにしています。できるだけ楽しい運動遊びを取り入れることの重要性を強調したいと思います。

岡田会長 さきほど「体力アップスクール表彰」をお受けになった、浜風小学校の北尾校長にお話しをお願いしたいと思います。

北尾委員 今、ご発言のあった、楽しんで運動遊びをすることが体力アップすることになると思います。学校としても、体育の授業の中でグループ活動をすることで、課題を自分ひとりでやるのではなく、友達にアドバイスをもらったり、激励をもらいながら、記録を伸ばすとか、そんな友達関係をつくるとか、をすすめています。また、休み時間とかに縄跳び（大会）とかをして、みんなで体を動かし、遊ぶ楽しさを味わう。それがこれで終わらず、普段でも外に出て寒かっても縄跳びをしたいとか、につながっている。先生方もそういうことを考えながらすすめています。どれだけ効果が上がっているかはわかりませんが、そういう取り組みで表彰していただいた。

岡田会長 ありがとうございます。事務方のほうは計画実現のため、よろしく願います。

権藤社会教育主事 その他の資料で、国体の地元選手と芦屋大学のスポーツ強化部活動の名簿をお渡ししています。資料を前もってご送付できませんでしたので、比嘉委員（芦屋大学学長）もご出席しておられますので、すこしご説明いただけたらと思います。

比嘉委員 資料を見ていただけたらと思います。皆さんもご存知と思いますが、報道でも紹介されたボクシングで3選手が全日本で優勝、その一人は世界選手権で3位になり、かなりオリンピックに近づいており、楽しみにしております。シンクロの方では、井村先生が客員教授に復帰しまして、学生1人と職員1人がリオ五輪に向け、強化練習で頑張っているところです。ゴルフも頑張っています。※個人情報原則省略

それから、バレーボールの柳本先生など、優秀な指導者が多数いますので、部活動などで呼んでいただけたらと思います。

岡田会長 ずいぶん活躍されておられるようですので、市の事業などでお呼びいた

けたらと思います。

山口委員 資料3のところで質問ですけど、体力テストの結果が出てきて、全体的に改善の方向が見えてきています。全体的（総合得点）に見て、小学6年男女はどちらも全国平均に並んできています。それまでは落ちていました。過去3年間に比べ、成績は良くなってきており、良いことだと思います。中学3年男女もここ2～3年に比べ改善されてきています。気になるのは中学1年女子、2年男女がちょっと落ちています。今、全国的に中学女子の30%は体育の授業以外は何もしない傾向があり、デリケートな時期でもあり、危ない状況があります。ただ、中学3年になるとすこし改善されています。全体的には伸びていると思います。

岡田会長 それでは、次の議題に入ります。

議題（3）南芦屋浜地区（涼風町5番）教育施設用地の利用について、事務局から説明をお願いします。

木野課長 南芦屋浜地区（涼風町5番）教育施設用地の利用について、をご説明させていただきます。

※資料5（南芦屋浜地区（涼風町5番）教育施設用地の利用について）の内容は別紙のとおり

岡田会長 只今、南芦屋浜地区（涼風町5番）教育施設の利用について、ご説明をいただきましたが、何かご質問ございますか。

西田副会長 土地利用計画の中に、社会教育施設と聞いていたのですが、そこにある施設をそのまま利用するという事なのか、新たに何か考えておられるのか、をお聞きしたいと思います。

木野課長 これから市民の意見をお聞きしながらですが、ベースはこれでお考えいただきたいという企業庁とのお話なのです。できるかできないかも踏まえ、検討しながら進めていきたいと思っています。

西田副会長 このスポーツ推進実施計画を進めていくのに、芦屋市の場合は施設がなく、特に観客席のある、アリーナ（体育館）がほしいと思います。それがあることでだいぶ変わるのではないかと思います。スポーツ関係者の意見として、このような声があることをお伝えします。

中村社会教育部長 今、おっしゃられたことは、本市、担当課も喉から手が出るほど、欲しいものの一つでございます。本来的には、震災前は総合福祉センターとともに総合スポーツセンターというものが計画（起案）されておりましたが、震災でその計画がダメになってしまいました。総合がとれて福祉センターは違う形で設置された次第です。今、西田副会長が言われましたように、体育館アリーナも稼働率95%以上ございますので、そういう意味合いからすると、ほんとうに担当課が一番それを望んでいるところではあ

ります。芦屋市の財政状況が向上したということなのですが、これからかなり厳しい状況になってまいります。この土地を購入できただけでも、ほんとうに今後の期待があるかなと思うのですが、教育委員会自身も中学校を2つ建て替えがございまして、社会教育施設も市民センター（ルナホール含）もこの10年以内に建て替えの検討がございまして、それぞれの施設が老朽化していきまして、次々と大きな財源が必要になってきます。今、言われましたことが、すぐにそれができるかについては、厳しい状況です。とりあえずは土地を取得し、できるものからと思っています。どれだけ皆さんのご意見を今回とり入れていけるのかは、私どもも推進していながらも心苦しいところがあります。一歩前進なのかなと思っています。近い将来には是非実現するよう努力したいと思います。

西田副会長 土地を確保していただいたことはありがたく思っておりますが、芦屋で最後残された広い土地で、総合公園や芦屋大学のグラウンド（屋外施設）ができたのですが、グラウンドはあるにしても屋内施設が必要と思います。すぐにはないにしろ、震災から20年以上経っておりますし、震災前の計画がそのままになっており、その時の関係者の方々はもう待てないと言っておられます。

古津委員 是非、長期的には良い方向に進めていただけるようお願いいたします。

岡田会長 ありがとうございます。以上で本日予定をされていた議事は終了いたします。その他で何かございましたらお出し願いたいと思います。

何も無いようですので、進行を事務局の方へお返しします。

権藤社会教育主事 岡田会長、スムーズな進行をいただき、ありがとうございます。

最後に、西田副会長からご挨拶をいただきます。

西田副会長 （挨拶）

権藤社会教育主事 これで、平成27年度第1回芦屋市スポーツ推進審議会を終了いたします。

ありがとうございます。

以上